

マツダのプレス金型調達・製作の革新

マツダ(株) 安達 範久*

新興国の急速な発展に伴い、自動車の生産・販売もグローバル化してきている。その中で、自動車のQCD競争は激化、個性的で卓越した車のデザインの進展、軽量化の進展、そして、毎回投資を必要とする外板プレス部品の金型投資削減などが大きな課題となっている。

今後も加速するグローバル化に伴い、金型のグローバル調達戦略もビジネス上重要となる。これまでの技術によるQCDの革新に加え、LCC (Low Cost Country) での金型調達などの取組みも急速に拡大させる必要がある。

本稿では、当社のプレス金型調達や製作の取組みの事例について紹介する。

プレス金型への要求

プレス金型に対しては、①デザイン意匠の高度化、

*Norihisa Adachi : ツーリング製作部 部長
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

②世界同時立上げへの要求、③安価なコスト、④軽量化への対応が強く要求されてきている。

図1にデザイン意匠の高度化として当社の「魂動デザインモチーフ」を示す。このように張りや艶を表現する面の連続性や曲率の再現など、プレス外板パネルへの革新が求められる。

また、従来は日本でマスターモデルを立ち上げてから、他国の生産拠点・販売拠点の準備をするのが一般的であった。情報化の進む昨今では、新車を発表した時点でインターネットなどを通じて瞬時に全世界に新車の情報が伝達されるようになってきている。したがって、各自動車生産拠点で新車を立ち上げるまでのタイムラグは販売のチャンスロスを生むこととなる。そこで、図2に示すような各拠点同時立上げへの変革が求められるようになってきている。

また、環境性能向上のため自動車の軽量化への対応も急務であり、各社ともGPa級ハイテン材やアルミニウムなどへの対応、システムとしてのホットスタン

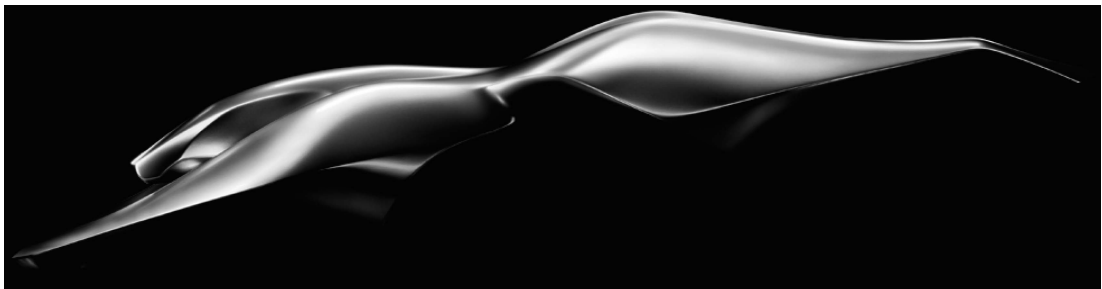


図1 魂動デザインモチーフ